

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	ビジネスマナーと コミュニケーション			教員名	宇野 悦加
対象学年	1	授業数	1/週	対象学年	1
1. 科目の概要	ビジネス社会において欠かすことのできないビジネスマナーと接遇、 コミュニケーション術を、具体的な事例と共に実践を交えながら学習する。 また、就職活動対策として、立ち居振る舞いや人前での話し方を体得する。				
2. 科目の 到達目標	就職活動、社会人必須の「基本的なビジネスマナー全般」「好印象を与える話し 方・言葉づかい」を身につける				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 自己紹介の仕方 第2週 第一印象の重要性と好印象を与える立ち居振る舞い 第3週 名刺の扱い方 第4週 敬語① 第5週 敬語② 第6週 電話対応 第7週 訪問時のマナーと席次 第8週 来客対応 第9週 好印象を与えるスピーチ 第10週 文書の書き方 第11週 仕事の正しい進め方 第12週 ビジネス敬語、電話対応問題集 第13週 ビジネス敬語、電話対応問題集 第14週 前期のまとめ 第15週 期末試験・課題提出（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席と授業態度			40%	
	定期試験の評価			60%	
				合計	100%
5. テキスト	「新秘書特講」(実務技能検定協会)				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	文書作成 B			教員名	松井 舞
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Microsoft Office Specialist (MOS) 試験科目のうち、「Word」に合格できる力を身につける。 さらに、試験合格だけではなく、素早い操作方法や便利な機能を修得することで、Word を使いこなす力・応用力を習得する。				
2. 科目の到達目標	① Word の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる ② Microsoft Office Specialist Word に合格できるスキルの習得 ③ 迅速かつ正確なタイピングスキルの習得				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 基礎知識の習得 第2週 文書の管理 第3週 文字、段落、セクションの挿入と書式設定 第4週 表やリストの管理 第5週 参考資料の作成と管理 第6週 グラフィック要素の挿入 第7週 グラフィック要素の書式設定 第8週 文書の共同作業の管理 第9週 模擬問題① 第10週 模擬問題② 第11週 模擬問題③ 第12週 模擬問題④ 第13週 模擬問題⑤ 第14週 総復習 第15週 期末試験・期末課題提出（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席・態度			30%	
	定期試験の評価			70%	
				合計	100%
5. テキスト	「Microsoft Office Specialist Word365&2019 対策テキスト&問題集」 (FOM 出版)				
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項	「Microsoft Office Specialist Word」に合格した場合、期末試験は免除。				
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	情報技術概論Ⅰ			教員名	吉岡 忍
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	国家試験対策を通じて、幅広い分野の基礎知識を学ぶ。 社会で広く求められている IT リテラシー（情報技術を正しく安全に、目的に合わせて活用するスキル）を高めるために必要な知識を身につける。				
2. 科目の 到達目標	① IPA 認定講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得する ② サーティファイ情報処理技術者試験能力認定試験 2 級 1 部合格を目指す ③ IPA の提供する修了試験合格（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）を目指す				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 プロジェクトマネジメント① 第2週 プロジェクトマネジメント② 第3週 プロジェクトマネジメント③ 第4週 サービスマネジメント 第5週 システム監査、内部統制 第6週 システム戦略 第7週 情報システムの活用 第8週 システム企画 第9週 ビジネス戦略 第10週 法務と標準化 第11週 システム開発（保守・廃棄） 第12週 会計・財務①、データベース① 第13週 会計・財務②、データベース② 第14週 期末試験対策 第15週 期末試験（授業は第 14 週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	出席率・授業態度			20%	
	期末試験の評価（サーティファイ情報処理技術者試験能力認定試験 2 級 1 部合格者は免除）			80%	
				合計	100%
5. テキスト	情報処理教育シリーズ マネジメントと情報化（ウイネット） 情報処理教育シリーズ システム開発技術（ウイネット）				
6. 参考文献	「情報処理技術者能力認定試験 2 級 問題集」（サーティファイ） 「みんなが欲しかった! IT パスポートの教科書&問題集 2023 年度」（TAC 出版）				
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 ■ビ実 ■デザイン	
前期		■情報メディア			
		□医療秘書			
受業科目名	デザインリテラシーⅠ			教員名	小島 智子
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Adobe Illustrator、Adobe Photoshop の基本操作を学ぶ。 デザインの基礎を理解する。				
2. 科目の 到達目標	① Illustrator の基本的な操作ができる ② Illustrator を使った自身の名刺制作				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 オリエンテーション 第2週 Illustrator の基本操作 第3週 Illustrator 簡単なイラスト制作① 第4週 Illustrator 簡単なイラスト制作② 第5週 Illustrator ロゴ制作① 第6週 Illustrator ロゴ制作② 第7週 Illustrator 名刺制作① 第8週 Illustrator 名刺制作② 第9週 Illustrator 地図制作① 第10週 Illustrator 地図制作② 第11週 Illustrator ポストカード制作① 第12週 Illustrator ポストカード制作② 第13週 Illustrator ブログタイトル画像制作 第14週 Illustrator 自身の名刺制作 第15週 期末試験（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中での課題の理解度			60%	
	授業に取り組む姿勢			40%	
	合計			100%	
5. テキスト	「これからはじめる Illustrator の本」(技術評論社)				
6. 参考文献	「レイアウト Illustrator 教室」(ワークスコーポレーション) 「デザインのつくり方」(クリエイティブ)				
7. 履修上の 留意事項	高度なデジタルツールではあるが、操作に慣れることによって意欲的に取り組んでほしい。				
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	Web 制作基礎（エキスパート）I		教員名	曾我政年	
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Web 技術におけるデファクトスタンダード、HTML5 と CSS に関する基本的な知識と実装力を身につけながら、「Web クリエイター能力認定試験（エキスパート）」の取得を目指す。				
2. 科目の到達目標	サイト作成に必要な知識と技術を身につける。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 環境構築・HTML の基礎知識（WWW など Web のなりたち） 第2週 エディタの使い方、タグの書き方（p、br、hr、h1、img、a など） 第3週 エディタの使い方、タグの書き方（table、form など） 第4週 エディタの使い方、CSS の書き方 第5週 emmet（VScode の入力方法）、Web 練習問題（HTML 復習） 第6週 Web 練習問題（Float、Table、Form） 第7週 Web クリエイター教科書（第1章～第2章） 第8週 Web クリエイター教科書（第3章～第4章） 第9週 Web クリエイター教科書（第5章～第6章） 第10週 Web クリエイター教科書（第7章～第8章） 第11週 Web クリエイター教科書（第9章） 第12週 Web クリエイター教科書（サンプル問題） 第13週 エキスパート模擬問題(実習) 第14週 エキスパート模擬問題(実習) 第15週 期末試験（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	出席		30%		
	授業中に行う課題の評価（練習問題）		20%		
Web クリエイターの試験合格 または 定期試験		50%			
		合計	100%		
5. テキスト	「Web クリエイター認定試験（HTML5 対応版）エキスパート 公式テキスト」 「Web クリエイター能力認定試験（HTML5 対応版）エキスパート 問題集」 （富士通 FOM）				
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項	Web クリエイター（エキスパート）に合格すれば期末試験は免除となる。				
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア			
		□医療秘書			
授業科目名	IT リテラシー			教員名	田中 良子
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	パソコン操作や周辺機器の使い方など、学校生活に必要な基本的スキルを学ぶ。また、メールの送り方やクラウドサービスの使い方など、社会に出てからも役立つIT リテラシーを養う。				
2. 科目の到達目標	① PC とその周辺機器の基本的な操作を理解し、指示通り操作ができる。 ② クラウドサービスの特徴を理解し、ファイル操作等ができる。 ③ IT リテラシーについて理解し、セキュリティやモラルを遵守できる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 コンピュータの起動、基本操作(フォルダ、ファイル操作、USB) 第2週 クラウドサービスの説明・Gmail・Google カレンダー・Meet 第3週 クラウドサービスの説明・Gmail・Google カレンダー・Meet 第4週 Google ドライブの使い方とドキュメントの共有方法 第5週 Google ドライブの使い方とドキュメントの共有方法 第6週 Google スライド、Google スプレッドシート 第7週 Google マップ、Google フォト、Google フォーム 第8週 Google 以外のクラウドサービス 第9週 情報のセキュリティと情報モラル 第10週 情報のセキュリティと情報モラル 第11週 コンピュータの基本 第12週 コンピュータの基本 第13週 その他周辺機器・ソフトウェアについて 第14週 その他周辺機器・ソフトウェアについて 第15週 期末試験(授業は第14週まで)				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中の課題			60%	
	授業中の態度			40%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献	「基礎からわかる情報リテラシー」(奥村晴彦、森本尚之、技術評論社) 「キタミ式イラストIT塾 ITパスポート」(きたみりゅうじ、技術評論社) 「Google Workspace 完全マニュアル」(桑名由美、秀和システム) 「インターネット社会を生きるための情報倫理」(実教出版)				
7. 履修上の留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2023 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	情報技術演習 I			教員名	日野 泰生
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	<p>国家試験対策を通じて、幅広い分野の基礎知識を学ぶ。 コンピュータの基礎原理、ハードウェア、ソフトウェア、周辺機器、画像音声データを扱う技術、AI といった要素について理解を深め、将来的にソフトウェア等の開発、あるいは積極的な利用が出来る人材を目指すための基礎を身につける。</p>				
2. 科目の到達目標	<p>① IPA 認定講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得する ② サーティファイ情報処理技術者試験能力認定試験 2 級 1 部合格を目指す ③ IPA の提供する修了試験合格（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）を目指す</p>				
3. 科目の内容 (各週毎)	<p>第1週 インTRODクシヨン、コンピュータの基礎知識 第2週 コンピュータの数値表現① 第3週 コンピュータの数値表現② 第4週 コンピュータの数値表現③ 第5週 ハードウェア① 第6週 ハードウェア② 第7週 ハードウェア③ 第8週 ハードウェア④ 第9週 システムの構成要素① 第10週 システムの構成要素② 第11週 ソフトウェア① 第12週 ソフトウェア② 第13週 マルチメディア、AI (人工知能) 第14週 アルゴリズムとデータ構造 第15週 期末試験 (授業は第 14 週まで)</p>				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	出席率・授業態度			20%	
	期末試験の評価 (サーティファイ情報処理技術者試験能力認定試験 2 級 1 部合格者は免除)			80%	
				合計	100%
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ コンピュータ概論」(ウイネット)				
6. 参考文献	<p>「情報処理技術者能力認定試験 2 級 問題集」(サーティファイ) 「みんなが欲しかった! IT パスポートの教科書&問題集 2023 年度」(TAC 出版)</p>				
7. 履修上の留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
前期		□情報メディア			
		□医療秘書			
授業科目名	アルゴリズムⅠ			教員名	板橋 幹雄
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	一般的に「アルゴリズム」とは「問題を解決するための手順や計算方法」を指します。この講義においては、プログラミングの基本概念である変数・分岐・繰返し・配列、および、流れ図・疑似言語など基本アルゴリズムの知識習得を目指します。また、基本情報技術者試験に出題されるアルゴリズムの問題演習を行う。				
2. 科目の到達目標	① プログラムを理解し、その動きを流れ図で表記できる ② アルゴリズムの基本的な例題が理解できる ③ 疑似言語を理解し、流れ図から疑似言語へ変換できる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 流れ図 ・プログラムと処理手順 第2週 ・流れ図の基本 第3週 ・変数と代入文 第4週 ・流れ図の解釈 第5週 流れ図の基本例題 ・評価を付ける処理 第6週 ・平均点等の算出 第7週 ・九九表作成 第8週 ・文字列の反転 第9週 ・配列へのデータ格納 第10週 ・2次元配列への集計 第11週 流れ図の実践問題 ・配列データの順位付け 第12週 ・運賃/特急料金を求める 第13週 疑似言語 ・疑似言語の記述形式 第14週 ・疑似言語のデータ型 第15週 期末試験（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	出席率・授業態度			40%	
	定期試験の評価			60%	
	合計			100%	
5. テキスト	「大滝みや子先生のかんたんアルゴリズム」 (著者：大滝みや子、出版社：リックテレコム)				
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項	アルゴリズムは、講義の積み重ねによって知識習得できるものです。遅刻・欠席した場合は、必ず欠損講義を確認して内容を習得しておくこと。				
教員実務経験	■有 □無				

2023 年度 前期	学科・ コース	■IT スペシャリスト □情報メディア □医療秘書		□技術 □ビ実 □デザイン																															
授業科目名	プログラミング基礎			教員名	尾崎慎一																														
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習																														
1. 科目の概要	JavaScript の基本を学び、 構造化プログラミングの基礎を学びます。																																		
2. 科目の 到達目標	構造化プログラミングの基礎を理解し、 簡単な処理を自分で作る事ができる。																																		
3. 科目の内容 (各週毎)	<table border="0"> <tr> <td>第1週</td> <td>環境構築、Gist の使い方</td> </tr> <tr> <td>第2週</td> <td>基本的なデータと計算 1</td> </tr> <tr> <td>第3週</td> <td>基本的なデータと計算 2</td> </tr> <tr> <td>第4週</td> <td>命令と条件分岐 1</td> </tr> <tr> <td>第5週</td> <td>命令と条件分岐 2</td> </tr> <tr> <td>第6週</td> <td>少し高度なデータ 1</td> </tr> <tr> <td>第7週</td> <td>処理を繰り返す 1</td> </tr> <tr> <td>第8週</td> <td>処理を繰り返す 2</td> </tr> <tr> <td>第9週</td> <td>関数を作る 1</td> </tr> <tr> <td>第10週</td> <td>関数を作る 2</td> </tr> <tr> <td>第11週</td> <td>オブジェクトをさらに理解する 1</td> </tr> <tr> <td>第12週</td> <td>オブジェクトをさらに理解する 2</td> </tr> <tr> <td>第13週</td> <td>HTML を操作する 1</td> </tr> <tr> <td>第14週</td> <td>HTML を操作する 2</td> </tr> <tr> <td>第15週</td> <td>期末試験（授業は第 14 週まで）</td> </tr> </table>					第1週	環境構築、Gist の使い方	第2週	基本的なデータと計算 1	第3週	基本的なデータと計算 2	第4週	命令と条件分岐 1	第5週	命令と条件分岐 2	第6週	少し高度なデータ 1	第7週	処理を繰り返す 1	第8週	処理を繰り返す 2	第9週	関数を作る 1	第10週	関数を作る 2	第11週	オブジェクトをさらに理解する 1	第12週	オブジェクトをさらに理解する 2	第13週	HTML を操作する 1	第14週	HTML を操作する 2	第15週	期末試験（授業は第 14 週まで）
第1週	環境構築、Gist の使い方																																		
第2週	基本的なデータと計算 1																																		
第3週	基本的なデータと計算 2																																		
第4週	命令と条件分岐 1																																		
第5週	命令と条件分岐 2																																		
第6週	少し高度なデータ 1																																		
第7週	処理を繰り返す 1																																		
第8週	処理を繰り返す 2																																		
第9週	関数を作る 1																																		
第10週	関数を作る 2																																		
第11週	オブジェクトをさらに理解する 1																																		
第12週	オブジェクトをさらに理解する 2																																		
第13週	HTML を操作する 1																																		
第14週	HTML を操作する 2																																		
第15週	期末試験（授業は第 14 週まで）																																		
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度				40%																														
	出席率				30%																														
	提出課題				30%																														
		合計			100%																														
5. テキスト	JavaScript つみあげトレーニングブック																																		
6. 参考文献	かじるプログラミング: https://zenn.dev/sdkfz181tiger																																		
7. 履修上の 留意事項	教科書をベースに進めますが、授業前に予習をしておく事 提出課題は必ず提出する事																																		
教員実務経験	■有 □無																																		

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 ■ビ実 □デザイン	
前期		■情報メディア			
		□医療秘書			
授業科目名	プログラミング演習Ⅰ			教員名	北村 伸司
対象学年	1	授業数	4/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	プログラミングの概念を理解し、条件分岐やループ処理などの基本的なステートメントの使い方を習得する。 制作するアプリケーションの仕様や完成イメージからシステム設計をすることができるセンスを養う。				
2. 科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① システム全体の構成を考えることができるようになる ② 基本的なステートメントを理解し使用できるようになる ③ オリジナルアプリケーションを制作できるようになる 				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 「フォーム」と「オブジェクト」の概念を理解する 第2週 変数の宣言とソースコードの書き方を理解する 第3週 アニメーションの基本を学ぼう 第4週 デバッグとエラー処理について 第5週 If・SelectCase ステートメントなど基本構文を理解する 第6週 If・SelectCase ステートメントなど基本構文を理解する 第7週 画像処理について 第8週 Sub プロシージャと Function プロシージャの使い分けについて 第9週 Sub プロシージャと Function プロシージャの使い分けについて 第10週 システム設計の概念とは 第11週 オリジナル作品のシステム設計をしてみよう 第12週 オリジナル作品制作 第13週 オリジナル作品制作 第14週 オリジナル作品制作 第15週 期末試験（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価			10%	
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価			25%	
	課題作成・提出の評価			25%	
	作品提出の評価			40%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	データ活用 B			教員名	松井 舞
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Microsoft Office Specialist (MOS) 試験科目のうち、「Excel」に合格できる力を身につける。さらに、試験合格だけではなく、素早い操作方法や便利な機能を修得することで、Excel を使いこなす力・応用力を習得する。				
2. 科目の到達目標	① Excel の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる。 ② 文書作成、書式設定、表の作成、参考資料の作成、図形の活用ができる。 ③ Microsoft Office Specialist Excel に合格できるスキルの習得。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 基礎知識の習得 第2週 ワークシートの管理 第3週 ブックの管理 第4週 セルやセル範囲のデータ管理 第5週 テーブルとテーブルのデータの管理 第6週 数式を使用した演算の実行 第7週 関数を使用した演算の実行 第8週 グラフの管理 第9週 模擬問題① 第10週 模擬問題② 第11週 模擬問題③ 第12週 模擬問題④ 第13週 模擬問題⑤ 第14週 総復習 第15週 期末試験・期末課題提出（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席・態度			30%	
	定期試験の評価			70%	
				合計	100%
5. テキスト	「Microsoft Office Specialist Excel 365 & 2019 対策テキスト&問題集」 (FOM 出版)				
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項	「Microsoft Office Specialist Excel」に合格した場合、期末試験は免除。				
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア ■医療秘書		□技術 ■ビ実 ■デザイン	
後期					
授業科目名	キャリアガイダンスⅠ			教員名	今村 佳典
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	就職活動をはじめると必要となる自己理解・職業理解をR-CAPやMYSTRENGTHを実施し深める。また、学生と社会人の違いやコミュニケーションの重要性など、実社会に必要な能力を学ぶ。				
2. 科目の到達目標	① 卒業後の進路に対する自己理解 ② 卒業後の業界研究 ③ 万全な体制で就活をスタートするための準備				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 オリエンテーション 第2週 R-CAPの実施 第3週 MYSTRENGTHの実施 第4週 学生と社会人の違いについて 第5週 コミュニケーションとは何か 第6週 R-CAP・MYSTRENGTHの診断結果の説明 第7週 自分について考える① 第8週 自分について考える② 第9週 社会について考える① 第10週 社会について考える② 第11週 業界研究① 第12週 業界研究② 第13週 業界研究③ 第14週 就職活動における行動目標設定 第15週 期末試験（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席率			60%	
	授業態度			40%	
				合計	100%
5. テキスト	R-CAP MYSTRENGTH				
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	ネットワーク・セキュリティ基礎			教員名	小川 孝志
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ネットワークについてはベースである TCP/IP およびその TCP/IP 通信の流れを理解することを目標とする。ネットワーク技術の基礎を学びつつ、広く浅くではあるがネットワークセキュリティの脅威とその対策を概観する。				
2. 科目の到達目標	①基本のネットワーク機器とパソコンの接続設定ができる ②メールソフトの設定と安全な運用ができる ③セキュリティに配慮した PC、スマホ活用の意識付け				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 ネットワークセキュリティの概要理解 第2週 イーサネット規格、トポロジーの理解 第3週 OSI 参照モデルと各階層の役割の理解 第4週 ネットワーク設定の基本を理解 第5週 ネットワーク通信におけるプロトコル、IP アドレスの概要理解 第6週 ネットワーク通信におけるポートの概要理解 第7週 ルーターを利用したネットワーク設定の習得 1 第8週 ルーターを利用したネットワーク設定の習得 2 第9週 ファイアーウォールのしくみの理解 第10週 電子メールの仕組みの理解 第11週 電子メールのソフトの使用方法の習得 第12週 電子メールを利用した脅威の概要理解 第13週 暗号化とデジタル署名の理解 第14週 無線ネットワークと関連セキュリティ 第15週 期末試験（授業は第 14 週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	出席数・態度			30%	
	定期試験の評価			70%	
	合計			100%	
5. テキスト	基礎から学ぶネットワーク（ウィネット）				
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項	授業内での文言や単語の記憶や暗記ではなく、理解することを重視すべきなのでわからないところは授業後でも構わないので質問してほしい				
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	情報技術概論Ⅱ			教員名	吉岡 忍
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	国家試験対策を通じて、幅広い分野の知識を学ぶ。 システム開発技術やマネジメントについて学び、システム構築や企業のDX 促進に携わることができるデジタル人材としてのスキルを身につける。				
2. 科目の到達目標	① IPA 認定講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得する ② サーティファイ情報処理技術者試験能力認定試験 2 級 1 部合格を目指す ③ IPA の提供する修了試験合格（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）を目指す				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 会計・財務③、データベース③ 第2週 会計・財務④、データベース④ 第3週 システム開発①、ネットワーク① 第4週 システム開発②、ネットワーク② 第5週 システム開発③、ネットワーク③ 第6週 企業活動①、ネットワーク④ 第7週 企業活動②、ネットワーク⑤ 第8週 経営戦略マネジメント①、ネットワーク⑥ 第9週 経営戦略マネジメント②、情報セキュリティ① 第10週 技術戦略マネジメント①、情報セキュリティ② 第11週 技術戦略マネジメント②、情報セキュリティ③ 第12週 目標とする検定の対策 第13週 目標とする検定の対策 第14週 期末試験対策 第15週 期末試験（授業は第 14 週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	出席率・授業態度			20%	
	期末試験の評価（IPA の提供する修了試験合格者は免除）			80%	
				合計	100%
5. テキスト	「情報処理教育シリーズ マネジメントと情報化」（ウイネット） 「情報処理教育シリーズ システム開発技術」（ウイネット）				
6. 参考文献	「情報処理技術者能力認定試験2級 問題集」（サーティファイ） 「みんなが欲しかった! IT パスポートの教科書&問題集 2023 年度」（TAC 出版）				
7. 履修上の留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		□技術 ■ビ実 ■デザイン	
後期					
授業科目名	デザインリテラシーⅡ			教員名	小島 智子
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Adobe Illustrator、Adobe Photoshop の基本操作を学ぶ。 デザインの基礎を理解する。				
2. 科目の 到達目標	①Photoshop の基本的な操作ができる ② Illustrator、Photoshop を使った作品を制作できる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 Photoshop の基本操作 第2週 カラーパネルについて 第3週 Photoshop 写真補正① 第4週 Photoshop 写真補正② 第5週 Photoshop 写真加工① 第6週 Photoshop 写真加工② 第7週 Photoshop 写真加工③ 第8週 Photoshop 写真加工④ 第9週 Photoshop 写真合成① 第10週 Photoshop 写真合成② 第11週 Photoshop ポストカード制作① 第12週 Photoshop ポストカード制作② 第13週 Photoshop ポストカード制作③ 第14週 自由作品制作 第15週 期末試験（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中での課題の理解度			60%	
	授業に取り組む姿勢			40%	
				合計	100%
5. テキスト	「これからはじめる Photoshop の本」(技術評論社)				
6. 参考文献	「Photoshop よくばり入門」(インプレス) 「レタッチ・加工」(クリエイティブ)				
7. 履修上の 留意事項	高度なデジタルツールではあるが、操作に慣れることによって意欲的に取り組んでほしい。				
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
後期		□情報メディア			
		□医療秘書			
授業科目名	Web 制作基礎（エキスパート）Ⅱ			教員名	曾我 政年
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	AdobeXD によるサイトデザインを行い、それに基づいてサイトを制作する。				
2. 科目の 到達目標	① レスポンシブデザインについて理解し、静的な Web サイトのデザインから 実装までができる。 ② XD のワイヤーフレームから新風なサイトを作成できる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 インTRODクシヨN・前期の復習 第2週 CSS flex の知識と実践 第3週 CSS gridlayout の知識と演習 第4週 CSS gridlayout の知識と演習 第5週 レシボンシブサイトの基礎知識 第6週 レシボンシブサイトの知識と演習 第7週 Adobe XD を使ったデザインカンブ作成① 第8週 Adobe XD を使ったデザインカンブ作成② 第9週 Adobe XD を使ったデザインカンブ作成③ 第10週 XD から Html と CSS をコーディングする① 第11週 XD から Html と CSS をコーディングする② 第12週 XD から Html と CSS をコーディングする③ 第13週 XD から Html と CSS をコーディングする④ 第14週 上記作品の講評 第15週 期末試験（授業は第 14 週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	授業課題の提出			40%	
	期末課題			60%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	1 日欠席すると授業についていくのが難しくなるため やむを得ず欠席した場合は各自で授業の内容を理解しておくこと。				
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	情報技術演習Ⅱ			教員名	日野 泰生
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	<p>国家試験対策を通じて、幅広い分野の基礎知識を学ぶ。 主にアルゴリズムやデータ構造について理解を深めながら、コンピュータの基礎理論や構成要素についての問題演習も行っていく。将来的にソフトウェア等の開発、あるいは積極的な利用が出来る人材を目指すための基礎を身につける。</p>				
2. 科目の到達目標	<p>① IPA 認定講座を受講し、基本情報技術者試験の知識を習得する ② サーフティファイ情報処理技術者試験能力認定試験 2 級 1 部合格を目指す ③ IPA の提供する修了試験合格（基本情報技術者試験の科目 A 試験免除）を目指す</p>				
3. 科目の内容 (各週毎)	<p>第1週 アルゴリズム入門、問題演習 第2週 流れ図の基本パターン、問題演習 第3週 疑似言語の基本パターン、問題演習 第4週 計算のアルゴリズム、問題演習 第5週 手続・関数、問題演習 第6週 配列の操作、問題演習 第7週 探索のアルゴリズム、問題演習 第8週 整列のアルゴリズム①、問題演習 第9週 整列のアルゴリズム②、問題演習 第10週 オブジェクト指向プログラミングの基本パターン、問題演習 第11週 データ構造、問題演習 第12週 実践アルゴリズム、問題演習 第13週 総合問題演習① 第14週 総合問題演習② 第15週 期末試験（授業は第 14 週まで）</p>				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席率・授業態度			20%	
	期末試験の評価（IPA の提供する修了試験合格者は免除）			80%	
				合計	100%
5. テキスト	<p>「情報処理教育シリーズ アルゴリズムとデータ構造」(ウイネット) 「情報処理教育シリーズ コンピュータ概論」(ウイネット)</p>				
6. 参考文献	<p>「情報処理技術者能力認定試験2級 問題集」(サーティファイ) 「みんなが欲しかった! IT パスポートの教科書&問題集 2023 年度」(TAC 出版)</p>				
7. 履修上の留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 □ビ実 □デザイン	
後期		□情報メディア □医療秘書			
授業科目名	アルゴリズムⅡ			教員名	板橋 幹雄
対象学年	1	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	この後期講義においては、前期に学習した流れ図・疑似言語などの基本アルゴリズムより少し難易度が高いアルゴリズムの知識習得を目指します。多種多様なアルゴリズム例題を解き、知識の習得と実力を上げる。また、基本情報技術者試験に出題されるアルゴリズム問題演習を行う。				
2. 科目の到達目標	① 難易度のある基本例題を理解し解答できる。 ② 難易度のある応用例題を理解し解答できる。 ③ 基本情報技術者試験のアルゴリズム問題が解答できる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 前期復習 第2週 疑似言語 ・疑似言語の構造 第3週 ・大域変数と外部参照 第4週 疑似言語のパターン演習 ・処理手順 ・選択処理 第5週 ・多重選択処理 第6週 ・繰返し処理 第7週 ・多重繰返し処理 第8週 疑似言語の基本例題 ・最大公約数の算出 ・文字のカウント 第9週 ・線形探索 ・2分探索 第10週 ・バブルソート ・挿入ソート 第11週 ・部分文字列の探索 ・リストの作成 第12週 疑似言語の応用例題 ・マージソート 第13週 ・ヒープソート 第14週 ・クイックソート ・文字列検索 第15週 期末試験（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	出席率・授業態度			40%	
	定期試験の評価			60%	
			合計	100%	
5. テキスト	前期使用の「大滝みや子先生のかんたんアルゴリズム」 (著者：大滝みや子、出版社：リックテレコム)				
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項	アルゴリズムは、講義の積み重ねによって知識習得できるものです。遅刻・欠席した場合は、必ず欠損講義を確認して内容を習得しておくこと。				
教員実務経験	■有 □無				

2023 年度 後期	学科・ コース	<input checked="" type="checkbox"/> IT スペシャリスト <input type="checkbox"/> 情報メディア <input type="checkbox"/> 医療秘書		<input type="checkbox"/> 技術 <input type="checkbox"/> ビ実 <input type="checkbox"/> デザイン																															
授業科目名	プログラミング応用			教員名	尾崎慎一																														
対象学年	1	授業数	2/週	授業形態	講義・演習																														
1. 科目の概要	JavaScript の基本 API や、ライブラリの使い方について学習します。そして簡単なアルゴリズムに触れていきます。																																		
2. 科目の到達目標	様々なライブラリを理解し、それを適切に扱う事ができる。																																		
3. 科目の内容 (各週毎)	<table border="0"> <tr> <td>第1週</td> <td>JavaScript の基本 API(Math…)</td> </tr> <tr> <td>第2週</td> <td>チートシートを探してみよう</td> </tr> <tr> <td>第3週</td> <td>課題作成 1</td> </tr> <tr> <td>第4週</td> <td>ライブラリを使う 1 (jQuery)</td> </tr> <tr> <td>第5週</td> <td>ライブラリを使う 2 (Animate.css)</td> </tr> <tr> <td>第6週</td> <td>課題作成 2</td> </tr> <tr> <td>第7週</td> <td>ライブラリを使う 3 (Leaflet)</td> </tr> <tr> <td>第8週</td> <td>ライブラリを使う 4 (Axios)</td> </tr> <tr> <td>第9週</td> <td>課題作成 3</td> </tr> <tr> <td>第10週</td> <td>アルゴリズムを使ってみよう 1</td> </tr> <tr> <td>第11週</td> <td>アルゴリズムを使ってみよう 2</td> </tr> <tr> <td>第12週</td> <td>アルゴリズムを使ってみよう 3</td> </tr> <tr> <td>第13週</td> <td>自由課題 1</td> </tr> <tr> <td>第14週</td> <td>自由課題 2</td> </tr> <tr> <td>第15週</td> <td>期末試験 (授業は第 14 週まで)</td> </tr> </table>					第1週	JavaScript の基本 API(Math…)	第2週	チートシートを探してみよう	第3週	課題作成 1	第4週	ライブラリを使う 1 (jQuery)	第5週	ライブラリを使う 2 (Animate.css)	第6週	課題作成 2	第7週	ライブラリを使う 3 (Leaflet)	第8週	ライブラリを使う 4 (Axios)	第9週	課題作成 3	第10週	アルゴリズムを使ってみよう 1	第11週	アルゴリズムを使ってみよう 2	第12週	アルゴリズムを使ってみよう 3	第13週	自由課題 1	第14週	自由課題 2	第15週	期末試験 (授業は第 14 週まで)
第1週	JavaScript の基本 API(Math…)																																		
第2週	チートシートを探してみよう																																		
第3週	課題作成 1																																		
第4週	ライブラリを使う 1 (jQuery)																																		
第5週	ライブラリを使う 2 (Animate.css)																																		
第6週	課題作成 2																																		
第7週	ライブラリを使う 3 (Leaflet)																																		
第8週	ライブラリを使う 4 (Axios)																																		
第9週	課題作成 3																																		
第10週	アルゴリズムを使ってみよう 1																																		
第11週	アルゴリズムを使ってみよう 2																																		
第12週	アルゴリズムを使ってみよう 3																																		
第13週	自由課題 1																																		
第14週	自由課題 2																																		
第15週	期末試験 (授業は第 14 週まで)																																		
4. 成績評価基準 (内容・評価の 観点・ウェイト 等)	授業態度				40%																														
	出席率				30%																														
	提出課題				30%																														
	合計				100%																														
5. テキスト	JavaScript つみあげトレーニングブック																																		
6. 参考文献	かじるプログラミング: https://zenn.dev/sdkfz181tiger																																		
7. 履修上の 留意事項	教科書をベースに進めますが、授業前に予習をしておく事																																		
教員実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無																																		

2023年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト		□技術 ■ビ実 □デザイン	
後期		■情報メディア			
		□医療秘書			
授業科目名	プログラミング演習Ⅱ			教員名	北村 伸司
対象学年	1	授業数	4/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	プログラム全体の処理の流れを理解し、より効率的でエラーが発生しにくいソースコード、処理速度の速いソースコードを意識できるようになる。 グラフィック、サウンド、動画などの使用や外部ファイルへのアクセスの方法も理解する。				
2. 科目の到達目標	① より効率的にプロシージャを使用できるようになる。 ② グラフィック、サウンド、動画などを取り込んで使用できるようになる。 ③ 納期を意識して計画的にアプリケーションを制作できるようになる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 複数のFormを使用したアプリケーションのメリット・デメリット 第2週 ループ処理と無限ループについて 第3週 ループ処理と無限ループについて 第4週 再帰処理とは 第5週 再帰処理とは 第6週 マウスイベントの取得と利用方法 第7週 キーボードイベントの取得と利用方法 第8週 より効率的なエラー対策とデバック処理について 第9週 インターフェイスのデザインと視認性、操作性について 第10週 オリジナル作品のシステム設計 第11週 オリジナル作品制作 第12週 オリジナル作品制作 第13週 オリジナル作品制作 第14週 オリジナル作品制作 第15週 期末試験（授業は第14週まで）				
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価			10%	
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価			25%	
	課題作成・提出の評価			25%	
	作品提出の評価			40%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献					
7. 履修上の留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				